

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、ありたま圏域） 第3回会議 議事録

開催日時	令和6年2月14日（水） 10時00分から11時45分まで
参加者	委員：7名、関係機関：11名、講師3名
場 所	積志協働センター 302 講座室
内 容	<p>1 開会</p> <p>2 挨拶 積志地区生活支援体制づくり協議体 副会長</p> <p>3 前回の振り返り 生活支援コーディネーターより、前回協議体会議で話し合った内容について共有。</p> <p>4 協議事項 他分野の理解を深め、地域活動に繋げる機会として、子どもや障がいの分野から3名の講師の方にお越しいただき、日ごろの活動や課題、地域との繋がりについて報告をしていただき、意見交換を行った。</p> <p>(1) 各団体や専門職への困りごと相談事例報告</p> <p><u>①地区内の保育園より子育て支援ひろばと園についての報告</u> <子育て支援ひろばについて> ・子どもが大きくなると支援が途切れてしまう。子どもが大きくなっても支援できる仕組みがあると良い。 <園について> ・コロナ以降、地域の方に参加してもらった活動が減っている。地域の方と一緒に行事を増やしたい。 ・畑などで食育活動もしているが職員だけでは難しいこともあるので、地域の方にも参加をしてほしい。</p> <p><u>②地区担当の障がい者相談支援センターの報告</u> ・相談支援の内容は、相談内容も緊急度も様々で、年齢も出産前から65歳前後までと幅広い。</p> <p>(2) 意見交換 ・積志地区内に3カ所の子育て支援ひろばがあることを初めて知った。 ・畑のことや行事の開催について、協力が必要な時は声をかけてほしい。 ・これまで子育て関連の機関と他機関が交流する機会がなかった。 地域の方にも是非知ってもらいたい。</p>

	5 閉会 積志地区生活支援体制づくり協議体 副会長
今後の見通し等	今回は、他分野の理解を深め、地域活動に繋げる機会として、子どもや障がいの分野の講師の方からの日ごろの活動等の報告を通して、今後どのような関りができそうかについて話し合った。これまで地域となかなか交流する機会がなかった分野の関係機関と地域が繋がるきっかけにもなり、新たな発見も多くあったように感じる。今後も地域からの要望に応じて、他分野の理解を深める機会を設けていきたい。